

感染症 ひとくち情報

麻疹に注意しましょう!



2018年4月20日

東京都健康安全研究センター

1. 麻疹とは

麻疹は、麻疹ウイルスの感染によって起こる感染症です。ウイルス感染後、約10日から12日の潜伏期の後、発熱や鼻水、咳、目の充血等が認められます。この症状が数日続いた後、全身性の発疹が現れ高熱は更に3日か4日続きます。

麻疹には特異的な治療法が無く、対象療法が中心となります。感染から回復までの約1か月間は免疫機能が低下するため、脳炎や肺炎等の重篤な合併症を引き起こす場合もあり注意が必要です。



2. 発生状況

沖縄県では台湾からの旅行者を初発とする麻疹の流行が、今年の3月から報告されています。都内でも海外渡航後に発症した患者等の報告があり、感染の広がりについては、今後十分な注意が必要です。

都内流行状況 URL : <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/measles/measles/>

3. 予防について

麻疹は感染力がきわめて強いため、1人の発病者から多くの人に感染します。唯一有効な予防方法はワクチン接種をして免疫を予め獲得しておくことです。



4. ワクチン接種について

定期予防接種	定期外予防接種
原則的に麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)を1期2期の期間において2回接種。	任意接種として麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)、麻疹ワクチンの接種が可能。
定期予防接種対象者	定期外予防接種対象者
1期：1歳以上2歳未満 2期：5歳から7歳未満で小学校就学前1年間	定期予防接種の期間にない人で麻疹罹患歴、ワクチン接種歴が1回も無い人

※ 上記対象者以外の方で接種を希望される方はかかりつけ医にご相談ください。

5. 医療機関で受診の際には

麻疹患者と接触した後に、発熱や咳、鼻みず、涙がたくさん出る、発疹などの症状が出て、麻疹が疑われる場合は、事前に医療機関にそのことを電話連絡してから受診してください。

東京都感染症情報センターの「麻疹 (Measles)」のページもご参照ください。

麻疹 東京都

